

スキル領域とスキル熟達度

(4)ITアーキテクト

スキル領域

職種:ITアーキテクト

ITアーキテクトのスキル領域

	専門分野	スキル項目
職種共通スキル項目	全専門分野	<ul style="list-style-type: none"> ● アーキテクチャ設計 要件(制約)の分析と定義、アーキテクチャ設計指針の定義、ITアーキテクチャ設計、アーキテクチャおよび技術的視点から実現可能性評価、技術上の課題の定義と代替案の分析、プラットフォーム及び要素技術の評価 ● 設計技法 モデリング技法の理解、データモデリング技法の理解と適用、プロセスモデリング技法の理解と適用、パフォーマンスモデリング技法の理解と適用、アプリケーション設計技法の理解と適用、インフラストラクチャ設計技法の理解と適用 ● 標準化と再利用 開発標準の定義、基本原則に基づくIT標準の定義、既存資産の再利用、再利用技法の理解と適用、再利用資産の開発と適用、再利用資産管理プロセスの理解 ● コンサルティング技法の活用 コンサルティング技法の選択と活用、分析ツールとモデルの理解と活用 ● 知的資産管理(Knowledge Management)活用 知的資産の管理と活用 <ul style="list-style-type: none"> ● テクノロジー IT業界動向の把握、関連技術(IT)動向の把握、関連技術(IT)標準の理解と適用 ● インダストリ(ビジネス) 関連業界動向の把握、関連業界アプリケーションの把握、関連業界(ビジネス)標準の理解と適用 ● プロジェクトマネジメント プロジェクト統合マネジメント、プロジェクト・スコープ・マネジメント、プロジェクト・タイム・マネジメント、プロジェクト・コスト・マネジメント、プロジェクト品質マネジメント、プロジェクト人的資源マネジメント、プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント、プロジェクト・リスク・マネジメント、プロジェクト調達マネジメント ● リーダーシップ リーダーシップ ● コミュニケーション 2Wayコミュニケーション、情報伝達、情報の整理・分析・検索 ● ネゴシエーション ネゴシエーション
	専門分野固有スキル項目	アプリケーションアーキテクチャ
インテグレーションアーキテクチャ		<ul style="list-style-type: none"> ● インテグレーションアーキテクチャ設計 統合要件の定義、統合アーキテクチャ設計、統合アーキテクチャ実現可能性の評価
インフラストラクチャアーキテクチャ		<ul style="list-style-type: none"> ● インフラストラクチャアーキテクチャ設計 インフラストラクチャ要件(主に非機能要件)の定義、インフラストラクチャアーキテクチャ設計、インフラストラクチャアーキテクチャ実現可能性の評価

スキル熟達度・知識項目

職種:ITアーキテクト

専門分野:アプリケーションアーキテクチャ

専門分野：
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●アーキテクチャ設計</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －要件(制約)の分析と定義 －アーキテクチャ設計指針の定義 －ITアーキテクチャ設計 －アーキテクチャおよび技術的視点から実現可能性評価 －技術上の課題の定義と代替案の分析 －プラットフォーム及び要素技術の評価 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル3	

専門分野：
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●設計技法</p> <p>【知識項目】</p> <p>－モデリング技法の理解</p> <p>－データモデリング技法の理解と適用</p> <p>－プロセスモデリング技法の理解と適用</p> <p>－パフォーマンスモデリング技法の理解と適用</p> <p>－アプリケーション設計技法の理解と適用</p> <p>－インフラストラクチャ設計技法の理解と適用</p>	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル3	

専門分野：
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●標準化と再利用</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －開発標準の定義 －基本原則に基づくIT標準の定義 －既存資産の再利用 －再利用技法の理解と適用 －再利用資産の開発と適用 －再利用資産管理プロセスの理解 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●コンサルティング技法の活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーコンサルティング技法の選択と活用</p> <p>ー分析ツールとモデルの理解と活用</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、コンサルティング技法を適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>● 知的資産管理(Knowledge Management)活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>一 知的資産の管理と活用</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●テクノロジー</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －IT業界動向の把握 －関連技術(IT)動向の把握 －関連技術(IT)標準の理解と適用 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●インダストリ(ビジネス)</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ー関連業界動向の把握 ー関連業界アプリケーションの把握 ー関連業界(ビジネス)標準の理解と適用 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●プロジェクトマネジメント</p> <p>【知識項目】</p> <p>－プロジェクト統合マネジメント</p> <p>－プロジェクト・スコープ・マネジメント</p> <p>－プロジェクト・タイム・マネジメント</p> <p>－プロジェクト・コスト・マネジメント</p> <p>－プロジェクト品質マネジメント</p> <p>－プロジェクト人的資源マネジメント</p> <p>－プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント</p> <p>－プロジェクト・リスク・マネジメント</p> <p>－プロジェクト調達マネジメント</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●リーダーシップ</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーリーダーシップ</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームをリードし、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●コミュニケーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>－2Wayコミュニケーション</p> <p>－情報伝達</p> <p>－情報の整理・分析・検索</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術チームメンバとITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●ネゴシエーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーネゴシエーション</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的かつ複雑なネゴシエーションを行い、同意を得ることができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行い、同意を得ることができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行うことができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術チームメンバーとのチームコミュニケーションを図り、ITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行うことができる
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【専門分野固有スキル項目】</p> <p>●アプリケーションアーキテクチャ設計</p> <p>【知識項目】</p> <p>—機能要件の定義 —機能アーキテクチャ設計 —機能アーキテクチャ実現可能性の評価</p>	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、アプリケーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、アプリケーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、アプリケーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、アプリケーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル3	

スキル熟達度・知識項目

職種:ITアーキテクト

専門分野:インテグレーションアーキテクチャ

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●アーキテクチャ設計</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －要件(制約)の分析と定義 －アーキテクチャ設計指針の定義 －ITアーキテクチャ設計 －アーキテクチャおよび技術的視点から実現可能性評価 －技術上の課題の定義と代替案の分析 －プラットフォーム及び要素技術の評価 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●設計技法</p> <p>【知識項目】</p> <p>－モデリング技法の理解</p> <p>－データモデリング技法の理解と適用</p> <p>－プロセスモデリング技法の理解と適用</p> <p>－パフォーマンスモデリング技法の理解と適用</p> <p>－アプリケーション設計技法の理解と適用</p> <p>－インフラストラクチャ設計技法の理解と適用</p>	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●標準化と再利用</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －開発標準の定義 －基本原則に基づくIT標準の定義 －既存資産の再利用 －再利用技法の理解と適用 －再利用資産の開発と適用 －再利用資産管理プロセスの理解 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●コンサルティング技法の活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーコンサルティング技法の選択と活用</p> <p>ー分析ツールとモデルの理解と活用</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、コンサルティング技法を適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>● 知的資産管理(Knowledge Management)活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>一 知的資産の管理と活用</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●テクノロジー</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －IT業界動向の把握 －関連技術(IT)動向の把握 －関連技術(IT)標準の理解と適用 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●インダストリ(ビジネス)</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ー関連業界動向の把握 ー関連業界アプリケーションの把握 ー関連業界(ビジネス)標準の理解と適用 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●プロジェクトマネジメント</p> <p>【知識項目】</p> <p>－プロジェクト統合マネジメント</p> <p>－プロジェクト・スコープ・マネジメント</p> <p>－プロジェクト・タイム・マネジメント</p> <p>－プロジェクト・コスト・マネジメント</p> <p>－プロジェクト品質マネジメント</p> <p>－プロジェクト人的資源マネジメント</p> <p>－プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント</p> <p>－プロジェクト・リスク・マネジメント</p> <p>－プロジェクト調達マネジメント</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●リーダーシップ</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーリーダーシップ</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームをリードし、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●コミュニケーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>－2Wayコミュニケーション</p> <p>－情報伝達</p> <p>－情報の整理・分析・検索</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術チームメンバーとITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●ネゴシエーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーネゴシエーション</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的かつ複雑なネゴシエーションを行い、同意を得ることができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行い、同意を得ることができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行うことができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術チームメンバーとのチームコミュニケーションを図り、ITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行うことができる
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【専門分野固有スキル項目】</p> <p>● インテグレーションアーキテクチャ設計</p> <p>【知識項目】</p> <p>— 統合要件の定義</p> <p>— 統合アーキテクチャ設計</p> <p>— 統合アーキテクチャ実現可能性の評価</p>	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インテグレーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インテグレーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インテグレーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インテグレーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル3	

スキル熟達度・知識項目

職種:ITアーキテクト

専門分野:インフラストラクチャアーキテクチャ

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●アーキテクチャ設計</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －要件(制約)の分析と定義 －アーキテクチャ設計指針の定義 －ITアーキテクチャ設計 －アーキテクチャおよび技術的視点から実現可能性評価 －技術上の課題の定義と代替案の分析 －プラットフォーム及び要素技術の評価 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●設計技法</p> <p>【知識項目】</p> <p>－モデリング技法の理解</p> <p>－データモデリング技法の理解と適用</p> <p>－プロセスモデリング技法の理解と適用</p> <p>－パフォーマンスモデリング技法の理解と適用</p> <p>－アプリケーション設計技法の理解と適用</p> <p>－インフラストラクチャ設計技法の理解と適用</p>	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●標準化と再利用</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －開発標準の定義 －基本原則に基づくIT標準の定義 －既存資産の再利用 －再利用技法の理解と適用 －再利用資産の開発と適用 －再利用資産管理プロセスの理解 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●コンサルティング技法の活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーコンサルティング技法の選択と活用</p> <p>ー分析ツールとモデルの理解と活用</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、コンサルティング技法を適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>● 知的資産管理(Knowledge Management)活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>一 知的資産の管理と活用</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●テクノロジー</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －IT業界動向の把握 －関連技術(IT)動向の把握 －関連技術(IT)標準の理解と適用 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●インダストリ(ビジネス)</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ー関連業界動向の把握 ー関連業界アプリケーションの把握 ー関連業界(ビジネス)標準の理解と適用 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●プロジェクトマネジメント</p> <p>【知識項目】</p> <p>－プロジェクト統合マネジメント</p> <p>－プロジェクト・スコープ・マネジメント</p> <p>－プロジェクト・タイム・マネジメント</p> <p>－プロジェクト・コスト・マネジメント</p> <p>－プロジェクト品質マネジメント</p> <p>－プロジェクト人的資源マネジメント</p> <p>－プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント</p> <p>－プロジェクト・リスク・マネジメント</p> <p>－プロジェクト調達マネジメント</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●リーダーシップ</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーリーダーシップ</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームをリードし、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●コミュニケーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>－2Wayコミュニケーション</p> <p>－情報伝達</p> <p>－情報の整理・分析・検索</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術チームメンバとITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●ネゴシエーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーネゴシエーション</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的かつ複雑なネゴシエーションを行い、同意を得ることができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行い、同意を得ることができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行うことができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術チームメンバーとのチームコミュニケーションを図り、ITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行うことができる
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【専門分野固有スキル項目】</p> <p>●インフラストラクチャアーキテクチャ設計</p> <p>【知識項目】</p> <p>－インフラストラクチャ要件(主に非機能要件)の定義</p> <p>－インフラストラクチャアーキテクチャ設計</p> <p>－インフラストラクチャアーキテクチャの実現可能性の評価</p>	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、他のITアーキテクトをリードし、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インフラストラクチャ領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、他のITアーキテクトをリードし、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インフラストラクチャ領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、アーキテクチャ設計チームをリードし、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インフラストラクチャ領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インフラストラクチャ領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル3	